

利尻町公共施設個別施設計画

令和3年3月

利尻町

1章	はじめに	1
1.1	計画の目的	1
1.2	計画期間	1
1.3	対象施設	2
2章	対象施設の現状	8
2.1	施設類型別施設棟数	8
2.2	構造別延床面積	9
2.3	建設年別延床面積	9
3章	一次施設評価	10
3.1	施設評価の考え方	10
3.1.1	施設評価の流れ	10
3.1.2	施設項目・指標	11
3.1.3	評価分類	15
3.2	一次評価結果	16
4章	施設類型毎の整備・管理の方針	23
4.1	目標使用年数の設定	23
4.2	施設分類毎の再評価と整備・管理の方針	24
4.2.1	町民文化系施設	24
4.2.2	社会教育系施設	25
4.2.3	スポーツ・レクリエーション系施設	26
4.2.4	産業系施設	28
4.2.5	学校教育系施設	29
4.2.6	子育て支援施設	30
4.2.7	保健・福祉施設	31
4.2.8	医療施設	32
4.2.9	行政施設	33
4.2.10	公園	34
4.2.11	その他施設	35
4.3	評価結果の総括	38

1章 はじめに

1. 計画の目的

近年、人口の減少に伴い、公共施設の余剰化や遊休化が進展するなかで、全国的に公共施設の統廃合や複合施設化が進んでいます。特に合併した市町村では、合併前に整備された公共施設の種類や機能の重複も数多くみられ、老朽化による修繕のための財政の負担も増大しており、本町においても人口規模に見合った公共施設のあり方を検討し、将来にわたって発生する維持経費等の負担を平準化するため、平成 29 年 5 月に公共施設等総合管理計画を策定しました。

利尻町公共施設等総合管理計画においては、施設の劣化診断等を定期的を実施し、経年による劣化状況や、施設利用・天候等による外的負荷による性能の低下状況や管理状況を把握するとともに、それらの結果と利用状況等により施設の評価を行い、保全の優先度を判断するとしています。

本計画は、総合管理計画の下位計画として、個別に長寿命化計画を持たない施設を対象として、活用手法を整理し、今後の整備・管理の方針を定め、公共施設マネジメントを推進することを目的としています。

2. 計画期間

計画期間は令和 3 年度（2020 年度）～令和 12 年度（2029 年度）の 10 年間とします。

また、社会情勢等の変化等を踏まえ、必要に応じて 5 年程度での中間見直しをすることとします。

3. 対象施設

本計画の対象施設は、町の所有する建築系公共施設のうち、個別の長寿命化計画を持たない施設とします。

表 対象施設

大分類	中分類	資産名
町民文化系施設	集会施設等	利尻町交流促進施設「どんと」、利尻大志館、利尻町役場仙法志支所・公民館
社会教育系施設	博物館等	利尻町立博物館、保津船収納小屋
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	利尻町総合体育館「夢交流館」、仙法志パークゴルフ場休憩施設、天望山スキー場管理棟、町民屋内運動場
	レクリエーション施設・観光施設	ふれあい広場休憩室
	保養施設	利尻町ふれあい保養センター（浴場、休憩室）、利尻町ふれあい保養センター（休憩室）、ホテル利尻（本館、新館、汐さい館）
産業系施設		利尻町昆布種苗生産施設、漁船上架施設駆動装置上屋、漁船上架施設ウインチ上屋、利尻町うに中間育成施設、仙法志漁船上架施設駆動装置上屋、利尻町ウニ種苗中間育成施設（1～2）、利尻町ウニ採苗生産施設
学校教育系施設		旧沓形中学校（校舎・幼稚園舎1～3）、旧仙法志中学校（校舎・幼稚園舎1～2、体育館）
子育て支援施設	保育園	仙法志保育所、沓形保育所
保健・福祉施設	高齢福祉施設	高齢者生活福祉センター「希望」、利尻町高齢者共同生活施設「友愛」、利尻町特別養護老人ホーム「ほのぼの荘」、ほのぼの荘車庫、利尻町老人福祉センター
医療施設	医療施設	沓形歯科診療所、仙法志歯科診療所
行政系施設	庁舎等	利尻町役場庁舎、利尻町役場庁舎車庫
	その他行政系施設	沓形除雪センター、仙法志除雪センター（車庫1～2）、利尻町砕石事業所事務所
公園	公園	利尻町運動公園休憩所
		利尻町森林公園（管理棟、炊事棟、バンガロー1～2）
その他	その他	利尻町ふれあい休憩施設、利尻町スクールバス車庫、利尻町葬斎場 旧開発宿舎、仙法志職員住宅、仙法志職員（一戸建）住宅、緑町職員（単身者）住宅、日出町単身者住宅、沓小沓中教職員住宅（富野）、旧新小教頭住宅、仙法志教員住宅（仙本4）、沓小教員住宅（H19）、沓中教職員住宅（日出54番地、日出56番地）、仙中教頭住宅、泉教員住宅、沓中教員住宅（日出4）、仙小校長住宅、沓小校長住宅、沓中教員住宅（日出3）、仙中教員住宅（仙本5）、旧新小教員住宅、旧仙中教員住宅（教一1～3）、仙小教職員住宅（42-1、42-2）、泉町職員住宅、仙中教職員住宅（仙本15）、沓小教員住宅（緑教1）、日出町職員住宅（A～B棟）、利尻中学校教員住宅（H28）、利尻中学校教員住宅（H29）

図 対象施設の位置（新湊・種富町）

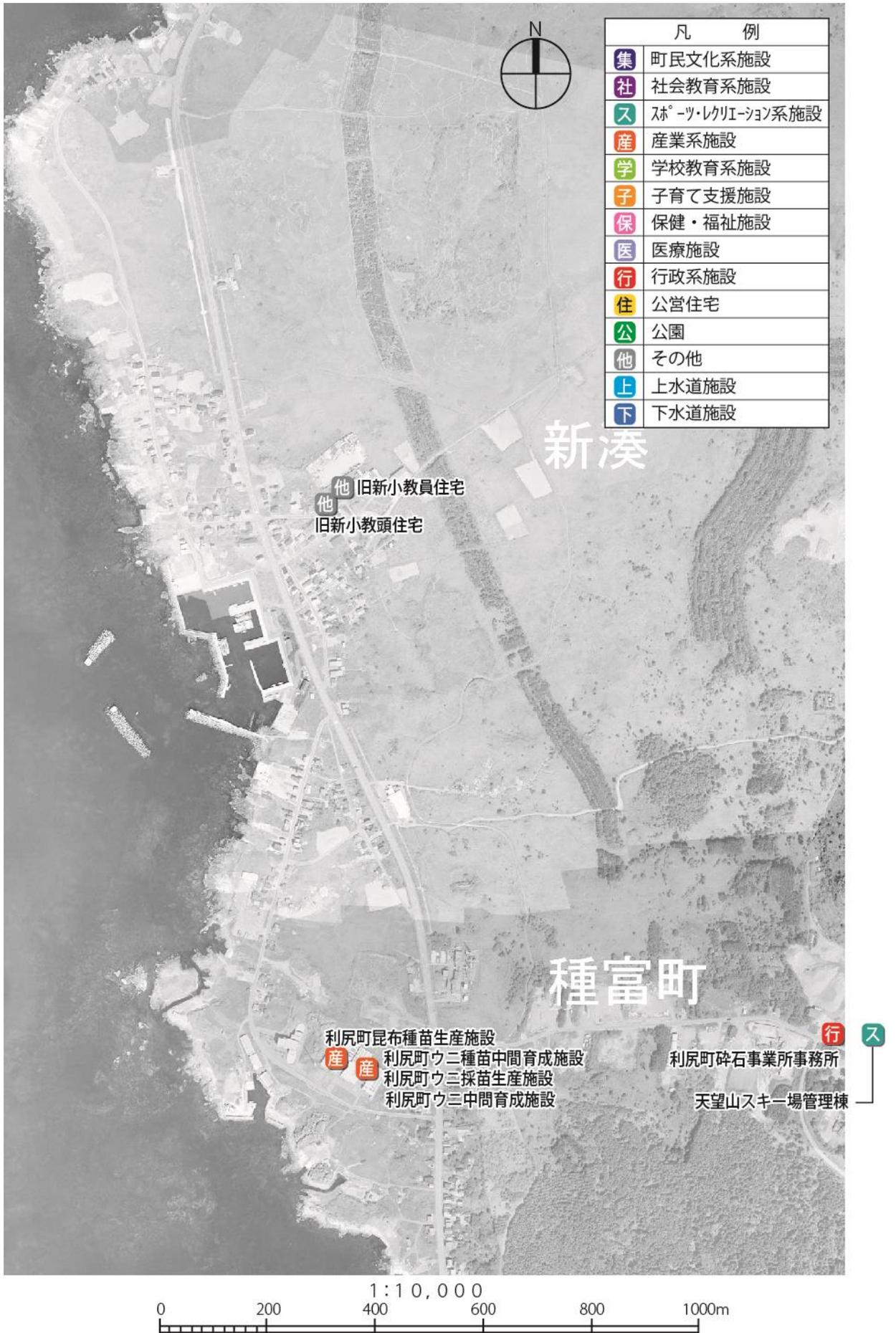


図 対象施設の位置（日出町・緑町・本町・富士見町・泉町）

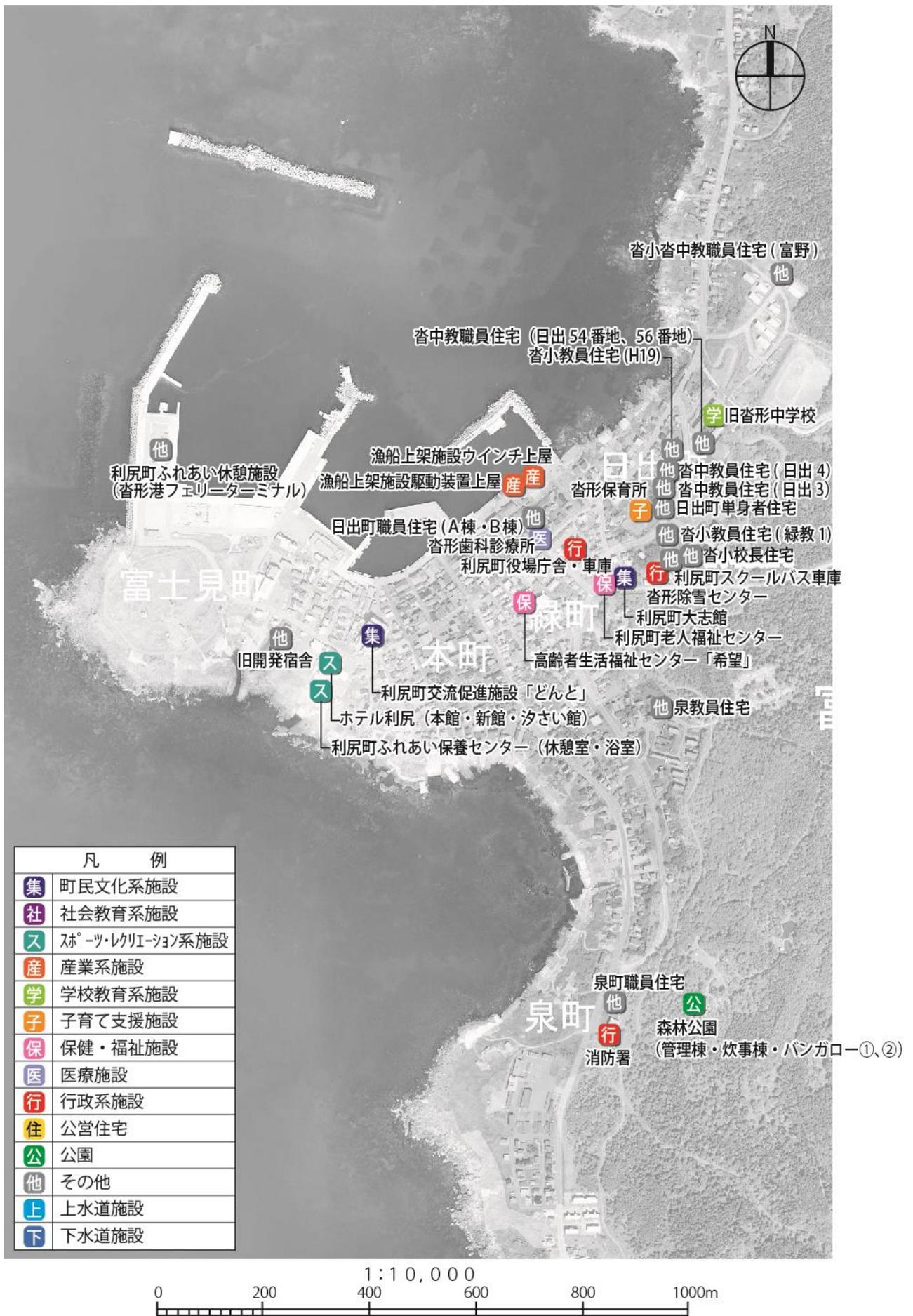


図 対象施設の位置（蘭泊）

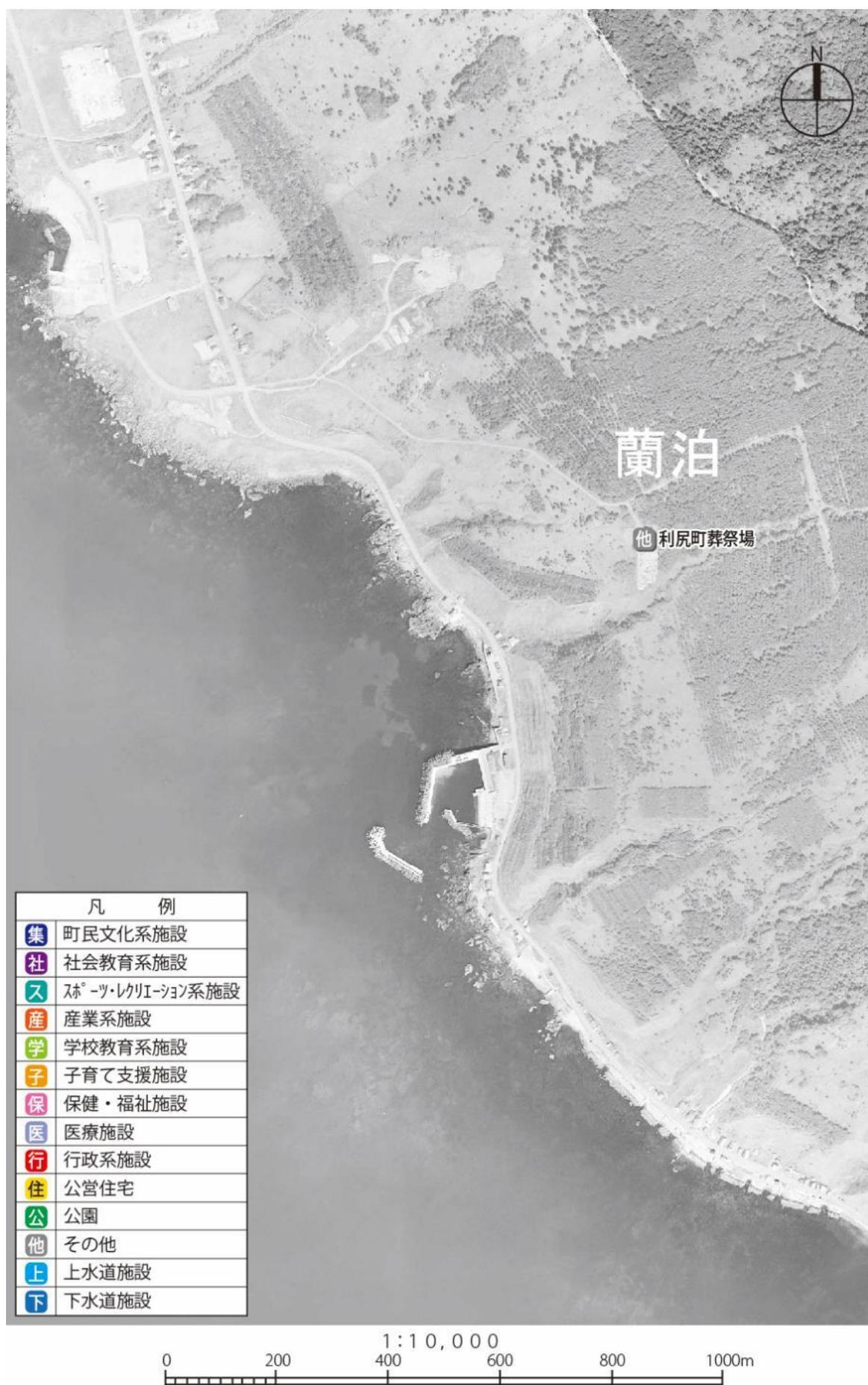


図 対象施設の位置（神居）



図 対象施設の位置（政泊・仙法志本町）



2章 対象施設の現状

1. 施設類型別施設棟数

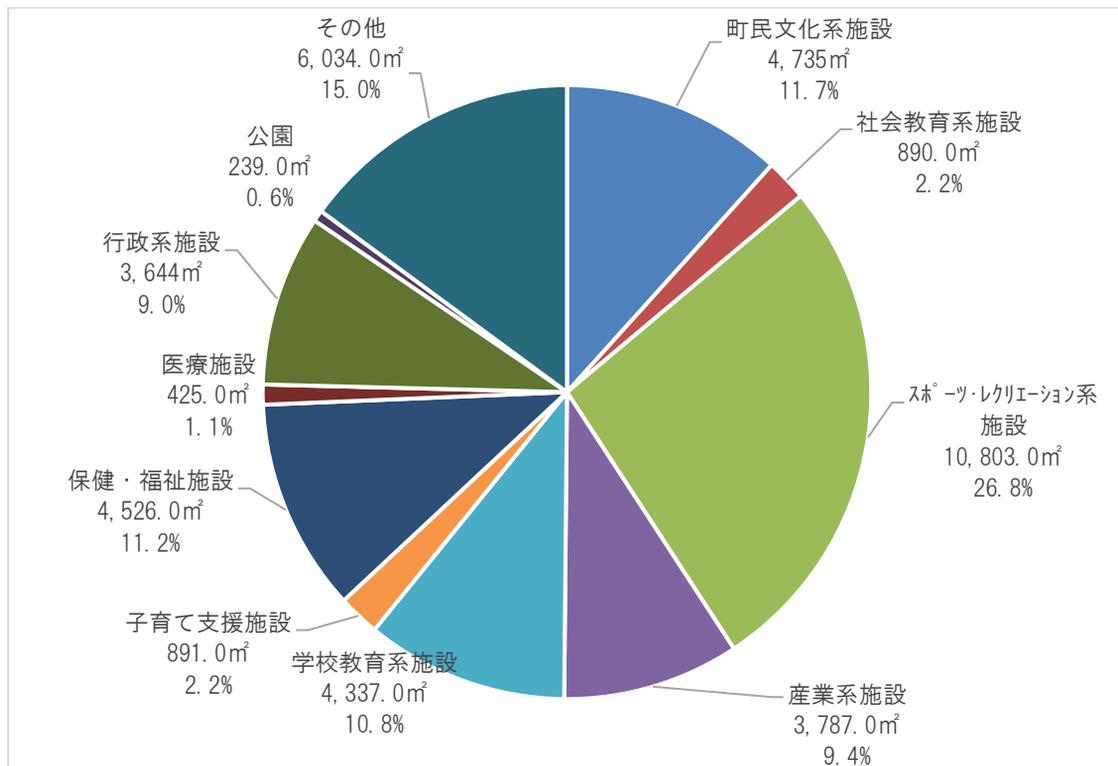
対象施設について、施設類型毎に床面積を整理すると下表のとおりとなります。

延床面積の構成比をみると、「スポーツ・レクリエーション系施設」が26.8%で最も高く、次いで「町民文化系施設」11.7%、「保健・福祉施設」11.2%、「学校教育系施設」10.8%の順となっています。

表 施設類型別棟数、延べ床面積

大分類	延床面積	構成比
町民文化系施設	4,735.0 m ²	11.7%
社会教育系施設	890.0 m ²	2.2%
スポーツ・レクリエーション系施設	10,803.0 m ²	26.8%
産業系施設	3,787.0 m ²	9.4%
学校教育系施設	4,337.0 m ²	10.8%
子育て支援施設	891.0 m ²	2.2%
保健・福祉施設	4,526.0 m ²	11.2%
医療施設	425.0 m ²	1.1%
行政系施設	3,644.0 m ²	9.0%
公園	239.0 m ²	0.6%
その他	6,034.0 m ²	15.0%
合計	40,311.0 m ²	100.0%

図 施設類型別の延べ床面積



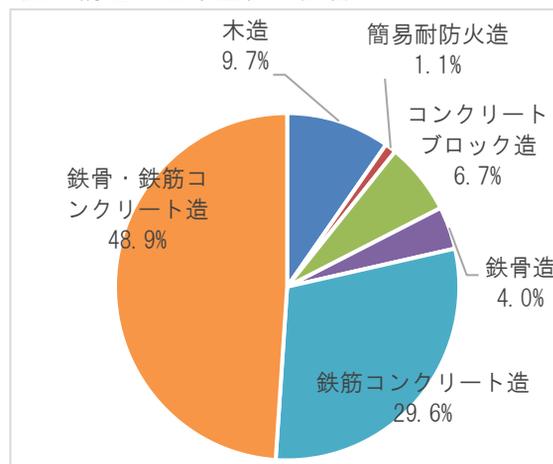
2. 構造別延床面積

構造別棟数をみると、木造が最も多く 35 棟と最も多く、次いで鉄骨・鉄筋コンクリート造 17 棟、コンクリートブロック造 12 棟となっている。構造別延床面積の割合では、鉄骨・鉄筋コンクリート造が 48.7%を占めており、次いで鉄筋コンクリート造 29.6%となっています。

表 構造別棟数・延床面積

構造	棟数	延床面積	構成比
木造	35	3,926	9.7%
簡易耐火造	3	425	1.1%
コンクリートブロック造	12	2,707	6.7%
鉄骨造	5	1,596	4.0%
鉄筋コンクリート造	17	11,931	29.6%
鉄骨・鉄筋コンクリート造	11	19,726	48.9%
合計	83	40,311	100.0%

図 構造別延床面積の割合

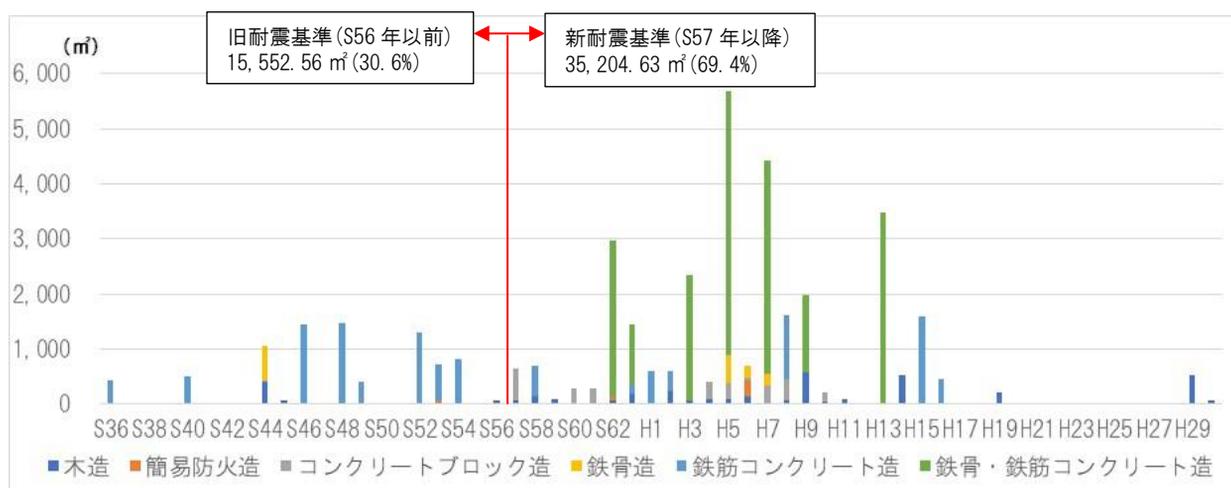


3. 建設年別延床面積

建設年別の延床面積をみると、旧耐震基準(昭和 56 年以前)に建設された施設が 20.6%、新耐震基準(昭和 57 年以降)に建設された施設が 79.4%となっています。

最も古い施設は昭和 36 年に建設された「旧沓形中学校」校舎・幼稚園舎 1 となっており、建設年が比較的早く、延床面積の大きい施設としては昭和 46 年建設の「旧沓形中学校」校舎・幼稚園舎 3、昭和 48 年建設の「ホテル利尻(本館)」等があります。

図 建設年別延床面積



3章 一次施設評価

1. 施設評価の考え方

今後の施設の管理方針を検討するうえでは、施設の老朽化度合いや維持管理等の運営に掛かるコスト、施設が位置している地域の人口状況、土砂災害や津波・洪水等の危険な箇所に該当していないか、施設の利用者数の状況等、様々な視点から評価し、施設管理の方向性を定めていく必要があります。

そのため、できるだけ客観的な視点により項目ごとの指標を定め、評価分析を行い、一定の評価結果を示すことで、各施設の適正な管理のための有効な検討材料とします。

ここでの評価結果は一次評価として扱い、これを基に上位計画での位置づけや施設の利用等も踏まえ、最終評価を行います。

(1) 施設評価の流れ

施設の評価は、「管理者視点」と「利用者視点」の大きく2つの視点から行います。

「管理者視点」では建物性能、建物管理状況、エネルギー費、運営費、「利用者視点」では人口密度、災害リスク、利用率、活用率の8つの項目で評価を行います。

表 評価の概要

視点	評価項目	評価概要
管理者視点	建物性能	劣化度調査により判定されたランクを点数化し評価。
	建物管理状況	予防保全で対応可能な11の設備における残耐用年数を算出し、残耐用年数の短い設備より施設管理状況を評価。
	エネルギー費	燃料費、電気、ガス代、上下水道代をもとにエネルギー費を算出、施設全体の平均エネルギー費と比較し、当該施設のエネルギー費を評価。
	運営費	人件費、使用料及び賃貸、指定管理委託料、その他をもとに運営費算出、施設全体の平均運営費と比較し、当該施設の運営費を評価。
利用者視点	人口密度	当該施設が位置する1kmメッシュの人口密度を評価。
	災害リスク	敷地における土砂災害・洪水のリスクをもとに災害のリスクを評価。
	利用率	延床面積と利用者数から率を算出、施設全体の平均利用率を比較し、当該施設の利用率を評価。
	活用率	開館日数と稼働（利用日数）から活用率を算出、施設全体の平均活用率と比較し、当該施設の活用率を評価。

(2) 施設項目・指標

1) 建物性能

建物性能は、以下の計算式により算出した建物劣化度に応じて、A～D ランクの4段階に評価します。

①当該施設の利用者の算出 $\left\{ 1 - \left[\frac{T_n - T + T_x}{2 T_n} + \frac{E_n}{2} \right] \right\} \times 100 (\%)$		評価に係る情報																
		T _n	耐用年数															
③建物性能の評価 <table border="1"> <thead> <tr> <th>建物劣化度</th> <th>評価</th> <th>点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15%未満</td> <td>A</td> <td>0点</td> </tr> <tr> <td>15～29%</td> <td>B</td> <td>1点</td> </tr> <tr> <td>30～44%</td> <td>C</td> <td>2点</td> </tr> <tr> <td>45%以上</td> <td>D</td> <td>3点</td> </tr> </tbody> </table>		建物劣化度	評価	点数	15%未満	A	0点	15～29%	B	1点	30～44%	C	2点	45%以上	D	3点	T	取得経過年数
		建物劣化度	評価	点数														
15%未満	A	0点																
15～29%	B	1点																
30～44%	C	2点																
45%以上	D	3点																
			延床面積															
		T _x	最も直近の大規模改修を行った時点の築年数															
		※	耐震基準															
		※	耐震補強の有無															
		※耐震係数 E _n に影響 E _n =1 : 新耐震基準 (1981 年以降に竣工) 又は耐震補強済 E _n =1/2 : 旧耐震基準 (1981 年以前に竣工) かつ耐震性能有 E _n =0 : 旧耐震基準 (1981 年以前に竣工) かつ耐震性能無もしくは耐震未診断																

2) 建物管理状況

建築 (屋根、外壁)、電気 (受変電設備、非常用電気設備、中央監視設備、防災設備)、設備 (空調設備、排煙設備、消火設備、給排水衛生設備、昇降機) の 11 項目について、残耐用年数を算出し、A～C ランクの3段階で評価し、各設備の評価ランクの個数に応じて、A～D ランクの4段階に評価します。

算出式：残耐用年数＝各設備の耐用年数－取得経過年数

残耐用年数 6 年超 → A

残耐用年数 0 年以上 5 年未満 → B

残耐用年数 0 年未満 → C

評価ランク 各設備の評価が全て A → A ランク 0 点

全てが A 又は B → B ランク 1 点

C が 1～4 個 → C ランク 2 点

C が 5 個以上 → D ランク 3 点

3) エネルギー費

燃料費、電気代、ガス代、上下水道代等のエネルギー費合計から当該施設の㎡当たりのエネルギー費を算出し、当該施設と同じ施設類型の平均エネルギー費と比較し、エネルギー費の増減率を点数化することで評価します。

①当該施設のエネルギー費の算出		②同施設類型の平均エネルギー費に対する当該施設の増減率を算出	
年間エネルギー費 (円)	(円/㎡)	当該施設 (円/㎡)	×100-100 (%)
施設の延床面積 (㎡)		同施設類型の平均 (円/㎡)	
③維持管理の評価		【維持管理費の項目例】	
増減率のレンジ	評価	点数	・ 電気代
-21%	A	0点	・ ガス代
-20%~19%	B	1点	・ 上下水道使用料
20%~39%	C	2点	・ 燃料費
40%以上	D	3点	・ その他

4) 運営費

人件費、使用料及び賃借料等の運営費の合計から当該施設の㎡当たりの運営費を算出し、当該施設と同じ施設類型の平均運営費と比較し、運営費の増減率を点数化することで評価します。

①当該施設の運営費の算出		②同施設類型の平均運営費に対する当該施設の増減率を算出	
年間運営費 (円)	(円/㎡)	当該施設 (円/㎡)	×100-100 (%)
施設の延床面積 (㎡)		同施設類型の平均 (円/㎡)	
③運営費の評価		【運営費の項目例】	
増減率のレンジ	評価	点数	・ 人件費
-20%未満	A	0点	・ 使用料及び賃借料
-20%~19%	B	1点	・ 委託費
20%~39%	C	2点	・ 修繕費
40%以上	D	3点	・ 保険料

5) 人口密度

人口密度の評価では、当該施設が位置している1kmメッシュの人口密度を算出し、評価します。評価基準は、311人/k㎡以上を「A」ランクとし、それ以下の密度の場合は段階的に評価を下げるものとします。

人口密度のレンジ	評価	点数
311人/k㎡以上	A	0点
107~310人/k㎡	B	1点
49~106人/k㎡	C	2点
0~48人/ha	D	3点

6) 災害リスク

当該施設が位置している場所が土砂災害危険区域内や土砂災害警戒区域に該当しているのかを評価します。

土砂災害	津波・洪水	評価	点数
危険箇所以外	浸水想定区域外	A	0点
	0.5m未満	B	1点
	0.5m以上	C	2点
危険箇所	浸水想定区域外	C	2点
	0.5m未満	C	2点
	0.5m以上	D	3点

7) 利用率

利用率評価では、各施設の延床面積と年間利用者数から当該施設のm²あたりの利用者数を算出、当該施設と同じ施設類型の平均利用者数と比較し、利用者の増減率を点数化することで評価します。

$$\frac{\text{①当該施設の利用者の算出}}{\text{年間利用者(人)}} \div \frac{\text{施設の延床面積(m}^2\text{)}}{\text{(人/m}^2\text{)}} \times \frac{\text{②同施設類型の平均利用者に対する当該施設の利用者数を算出}}{\text{当該施設(人/m}^2\text{)}} \div \frac{\text{同施設類型の平均(人/m}^2\text{)}}{\text{(人/m}^2\text{)}} \times 100 - 100 (\%)$$

③利用率の評価

利用者増減率のレンジ	評価	点数
-20%以上	A	0点
-20~-19%	B	1点
-40~-21%	C	2点
~-41%	D	3点

*利用者数が不明の場合などデータがない場合は中間点の2点で算出。

8) 活用率

活用率評価では、各施設の開館日数と稼働日（利用日数）から当該施設の稼働率を算出、当該施設と同じ施設類型の稼働率と比較し、当該建物の増減率を点数化することで評価します。

①当該施設の活用率の算出		②同施設類型の平均利用者に対する当該施設の増減率を算出	
$\frac{\text{稼働日（日）}}{\text{施設の開館日数（日）}} \times 100（\%）$		$\frac{\text{当該施設（稼働率）}}{\text{同施設類型の平均（稼働率）}} \times 100 - 100（\%）$	
③利用率の評価			
利用者増減率のレンジ	評価	点数	
-20%以上	A	0点	
-20～19%	B	1点	
-40～-21%	C	2点	
～-41%	D	3点	
*利用者数が不明の場合などデータがない場合は中間点の2点で算出。			

(3) 評価分類

「管理者視点」と「利用者視点」の二つの視点に該当する8つの評価項目の点数をポートフォリオ分析にかけることで、施設の評価分類として大きく4つの方向性を示すことができます。

施設の評価結果は、「継続保全」、「更新検討」、「利用検討」、「用途廃止」の4つに分類されます。

図 ポートフォリオ分析の分類

更新検討		用途廃止	
<u>管理者視点</u>	<u>利用者視点</u>	<u>管理者視点</u>	<u>利用者視点</u>
建物性能 悪	人口密度 高	建物性能 悪	人口密度 低
建物管理状況 悪	災害リスク 低	建物管理状況 悪	災害リスク 高
エネルギー費 高	利用率 高	エネルギー費 高	利用率 低
運営費 高	活用率 高	運営費 高	活用率 低
継続保全		利用検討	
<u>管理者視点</u>	<u>立地・利用視点</u>	<u>管理者視点</u>	<u>利用者視点</u>
建物性能 良	人口密度 高	建物性能 良	人口密度 低
建物管理状況 良	災害リスク 低	建物管理状況 良	災害リスク 高
エネルギー費 低	利用率 高	エネルギー費 低	利用率 低
運営費 低	活用率 高	運営費 低	活用率 低

表 評価分類

評価分類	分類された施設の特徴	主な検討内容
継続保全	施設の状態がよく、光熱水費、運営費も少ない。また、人口密度が高い場所に立地し、災害リスクも低く、利用者が多い施設群。	○現状を維持して、このまま継続的に利用し、継続保全を図る施設。
更新検討	施設が劣化しており、光熱水費、運営費も多くかかっている施設だが、人口密度が高い場所に立地し、災害リスクも低く、利用者が多い施設群。	○施設の必要性が認められる施設であり、建替えや他の施設との複合化などを検討する施設。 ○建替えによる複合化などにより維持管理費の縮減を検討する。
利用検討	施設の状態がよく、光熱水費、運営費も少ない。しかし、人口密度が低い場所に立地し、災害リスクが高く、利用者も少ない施設群。	○継続的に利用するが、他の用途への転用や売却等を検討する。
用途廃止	施設が劣化しており、光熱水費、運営費も多い。また、人口密度が低い場所に立地し、災害リスクが高く、利用者も少ない施設群。	○必要性が低い施設であり、利用後は用途廃止を検討する。 ○用途廃止した施設や土地の売却・貸付・譲渡などを検討する。

2. 一次評価結果

一次評価結果をみると、割合が多い順に「更新検討」が61棟（73.5%）、「継続保全」が11棟（13.3%）、「用途廃止」が10棟（12.0%）、「利用検討」が1棟（1.2%）となっています。

図 施設分類毎の一次評価結果

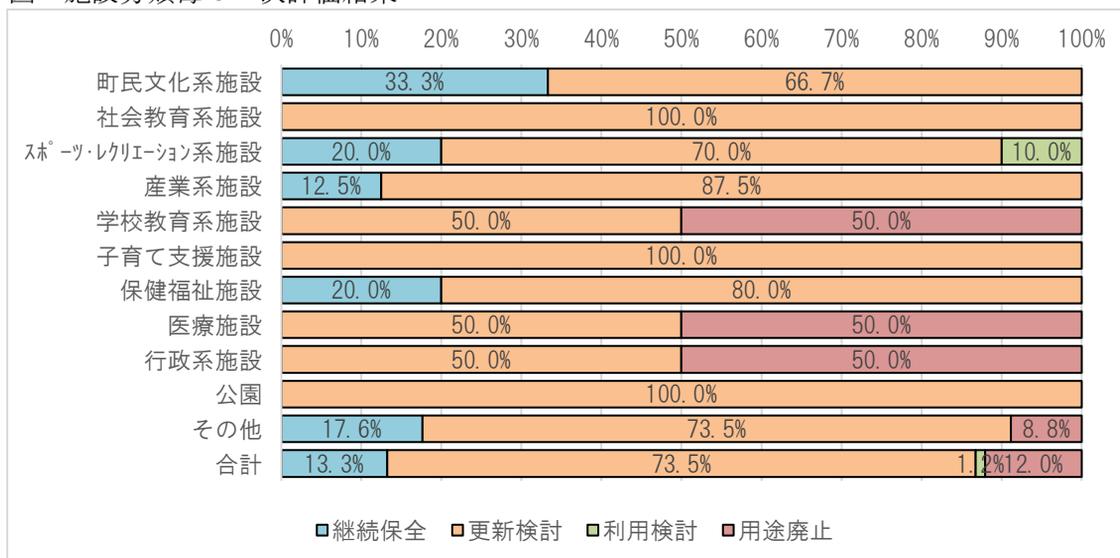


表 施設分類毎の一次評価結果

施設分類	継続保全	更新検討	利用検討	用途廃止	合計
町民文化系施設	1	2	0	0	3
	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%
社会教育系施設	0	2	0	0	2
	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
スポーツ・レクリエーション系施設	2	7	1	0	10
	20.0%	70.0%	10.0%	0.0%	100.0%
産業系施設	1	7	0	0	8
	12.5%	87.5%	0.0%	0.0%	100.0%
学校教育系施設	0	3	0	3	6
	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	100.0%
子育て支援施設	0	2	0	0	2
	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保健・福祉施設	1	4	0	0	5
	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	100.0%
医療施設	0	1	0	1	2
	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	100.0%
行政系施設	0	3	0	3	6
	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	100.0%
公園	0	5	0	0	5
	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他	6	25	0	3	34
	17.6%	73.5%	0.0%	8.8%	100.0%
合計	11	61	1	10	83
	13.3%	73.5%	1.2%	12.0%	100.0%

施設分類毎の一次評価結果をポートフォリオへ落とし込むと下図のとおりとなります。
 なお、評価結果が各評価分類の中間に位置した場合は、より悪い評価の方で判断しています。

図 町民文化系施設の一次評価結果

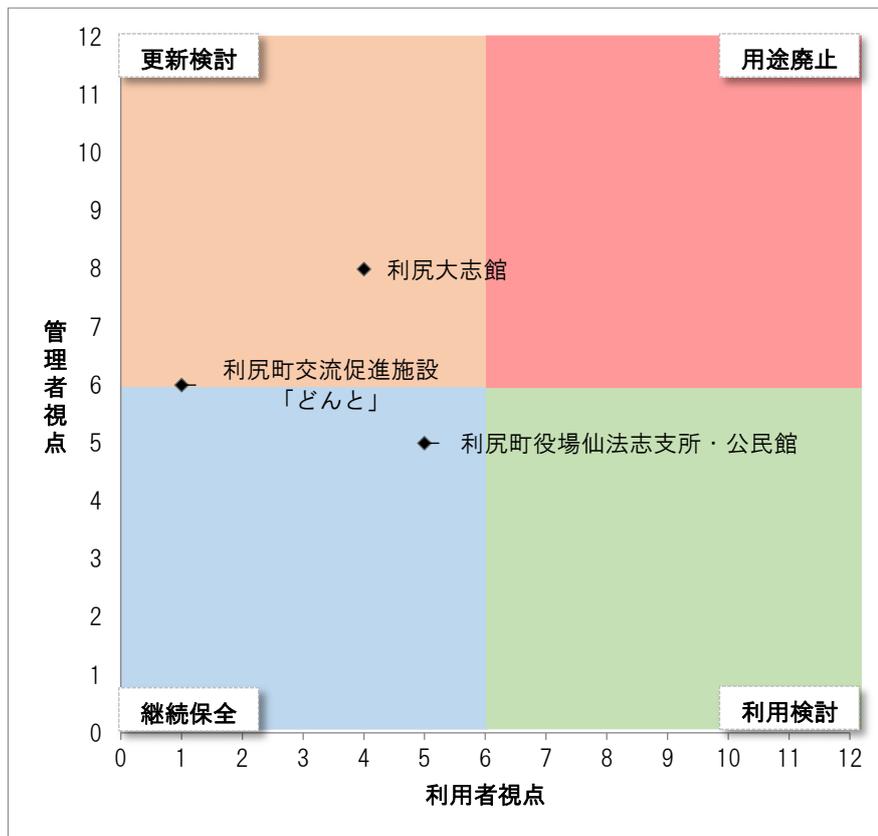


図 社会教育系施設の一次評価結果

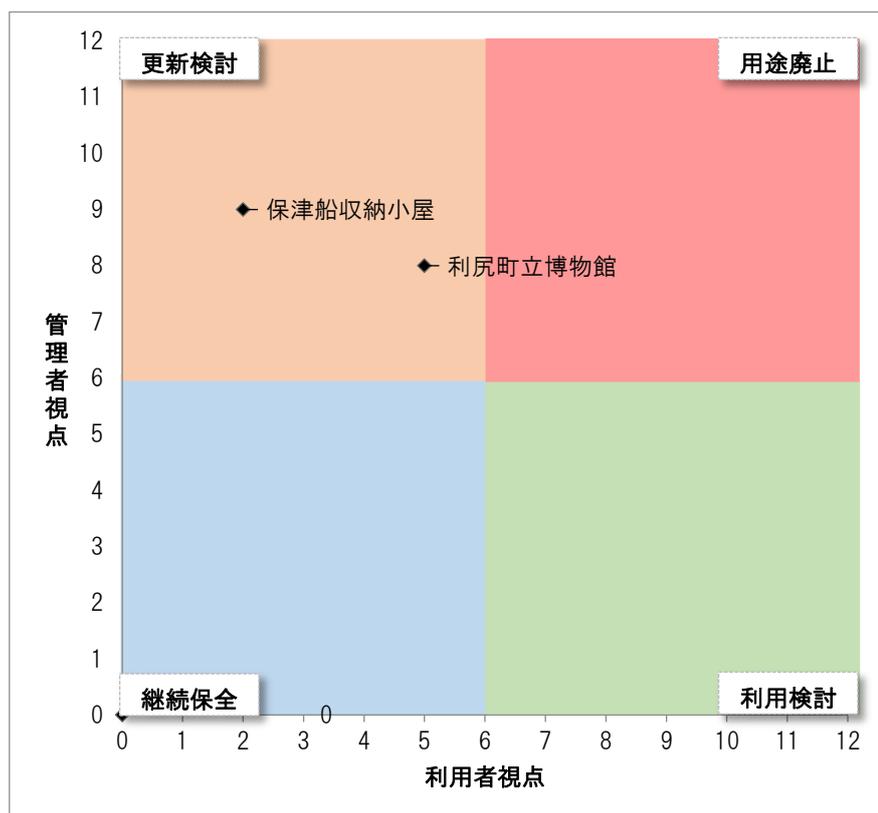


図 スポーツ・レクリエーション系施設（スポーツ施設）の一次評価結果

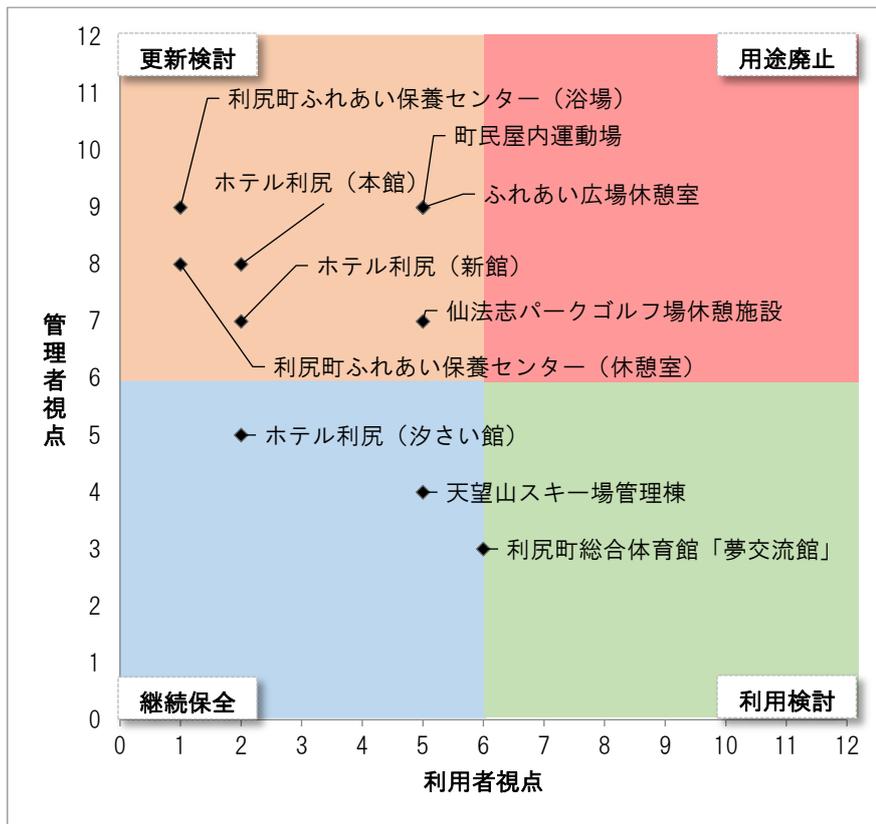


図 産業系施設の一次評価結果

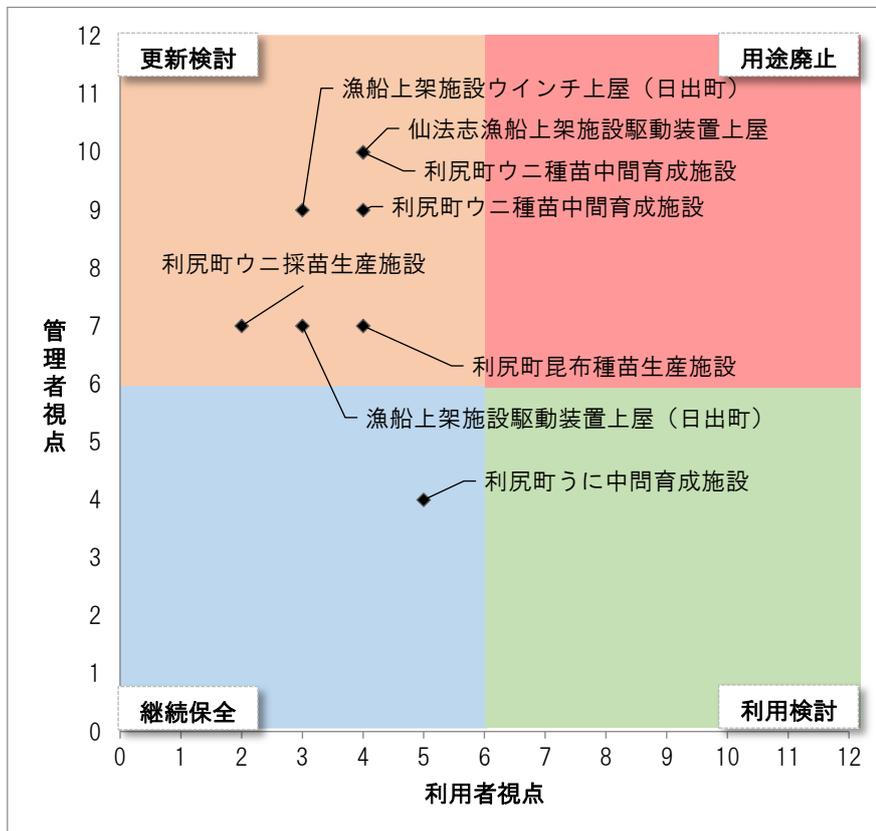


図 学校教育系施設の一次評価結果

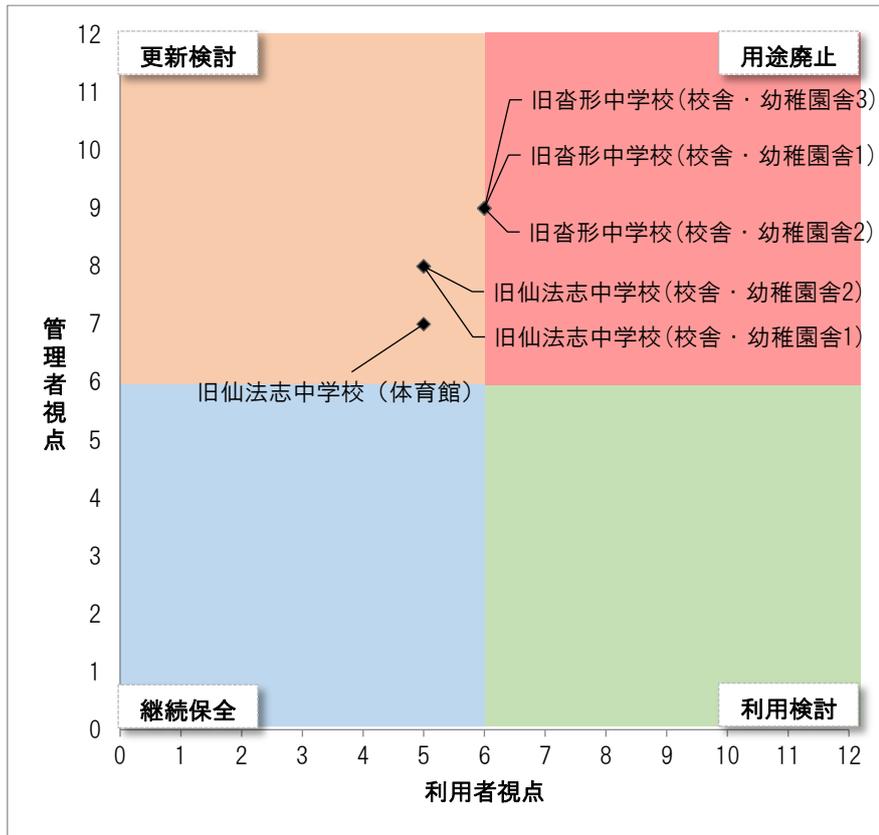


図 子育て支援施設の一次評価結果

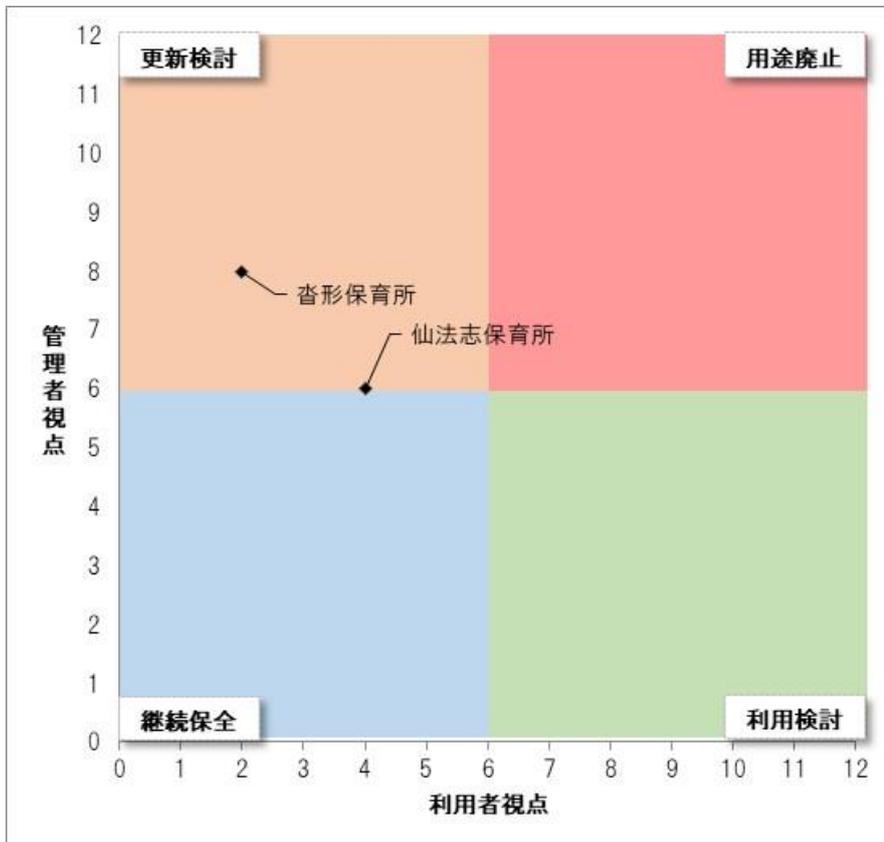


図 保健・福祉施設の一次評価結果

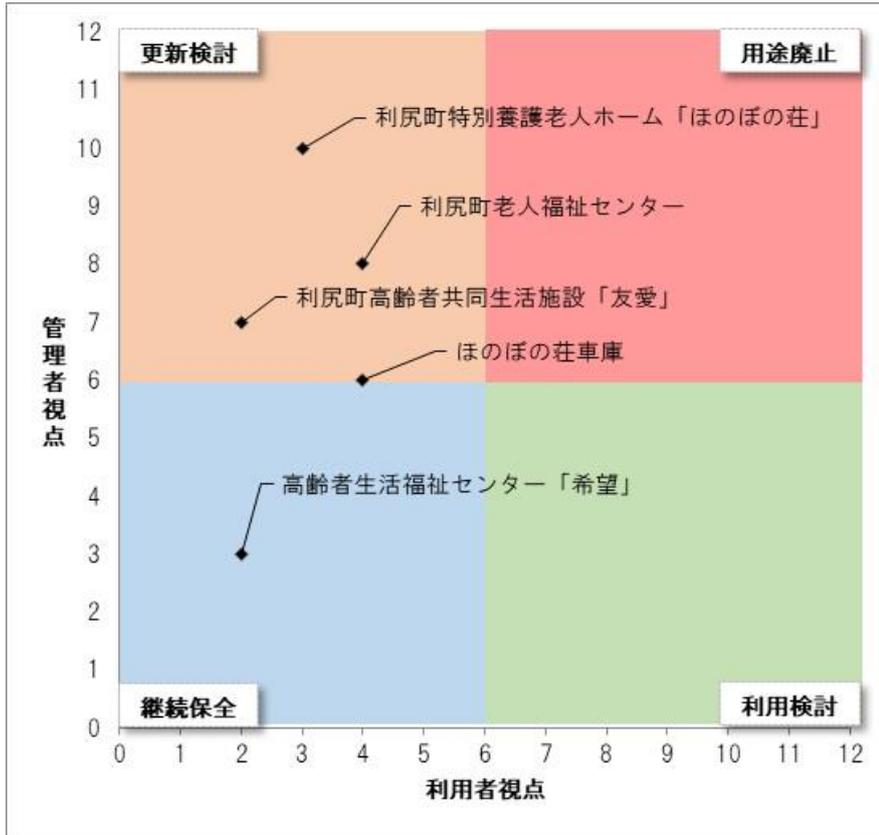


図 医療施設の一次評価結果

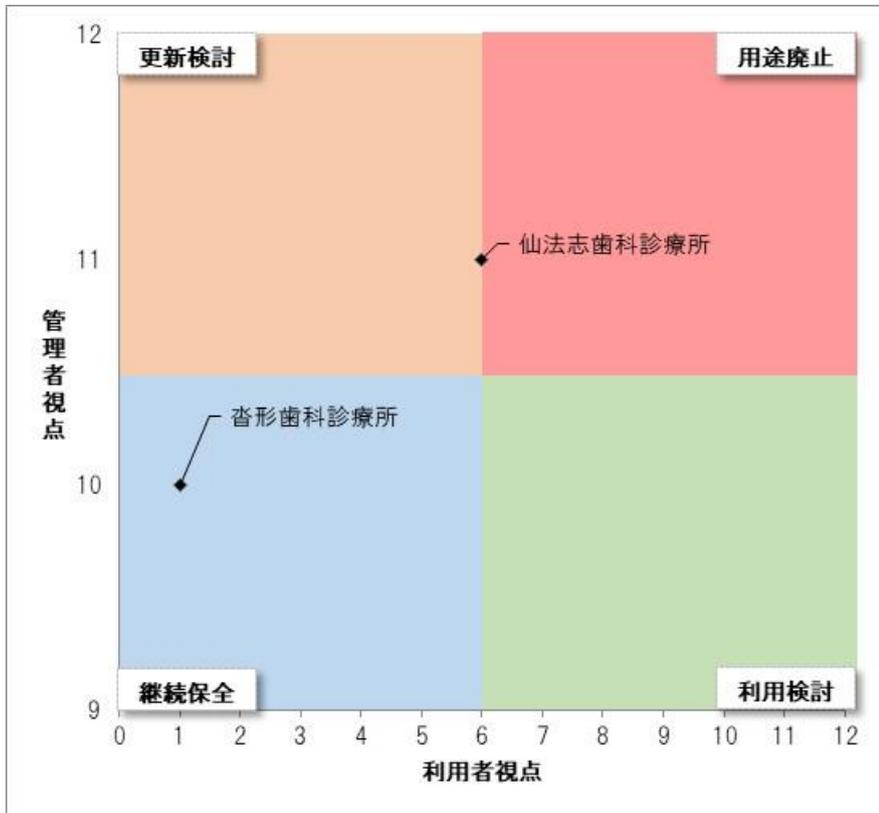


図 行政系施設の一次評価結果

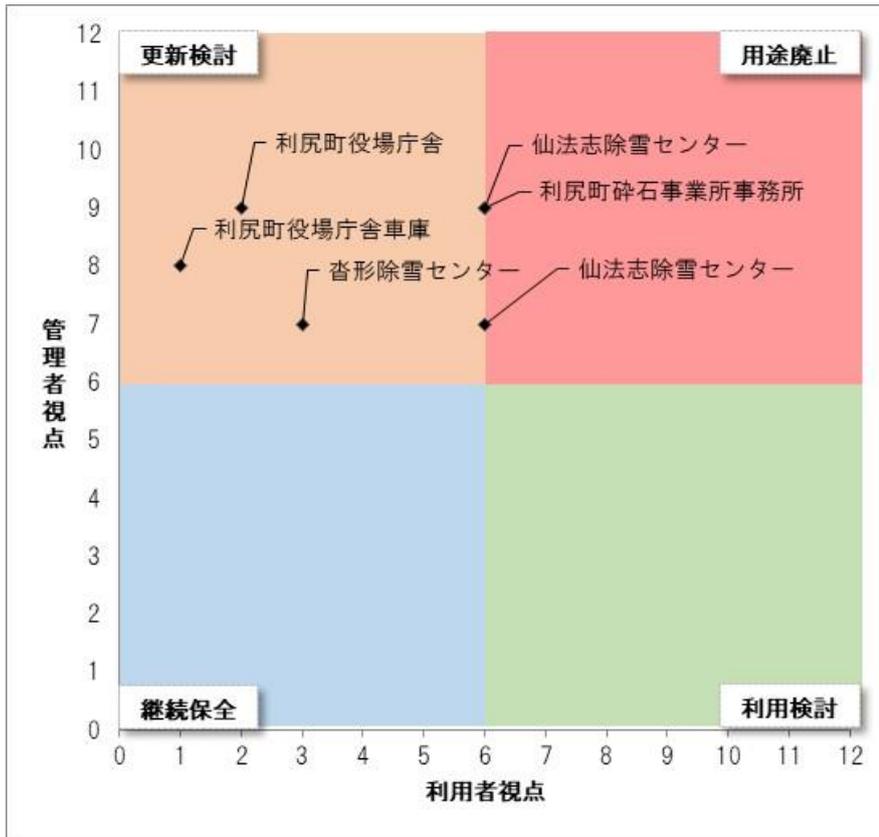


図 公園施設の一次評価結果

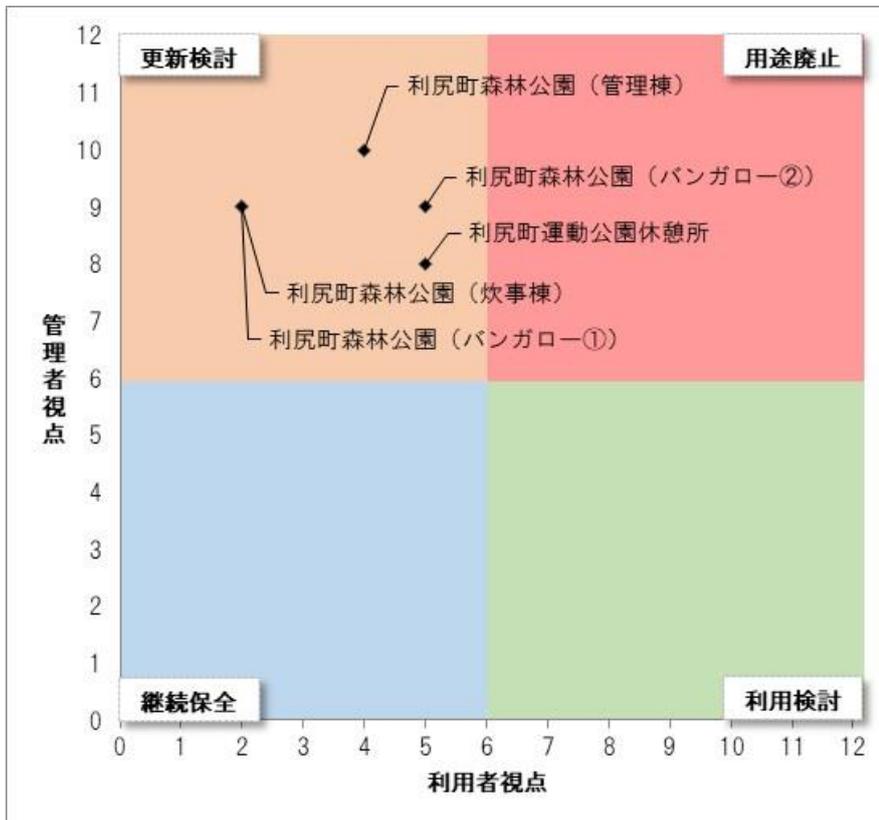


図 その他施設（その他施設）の一次評価結果

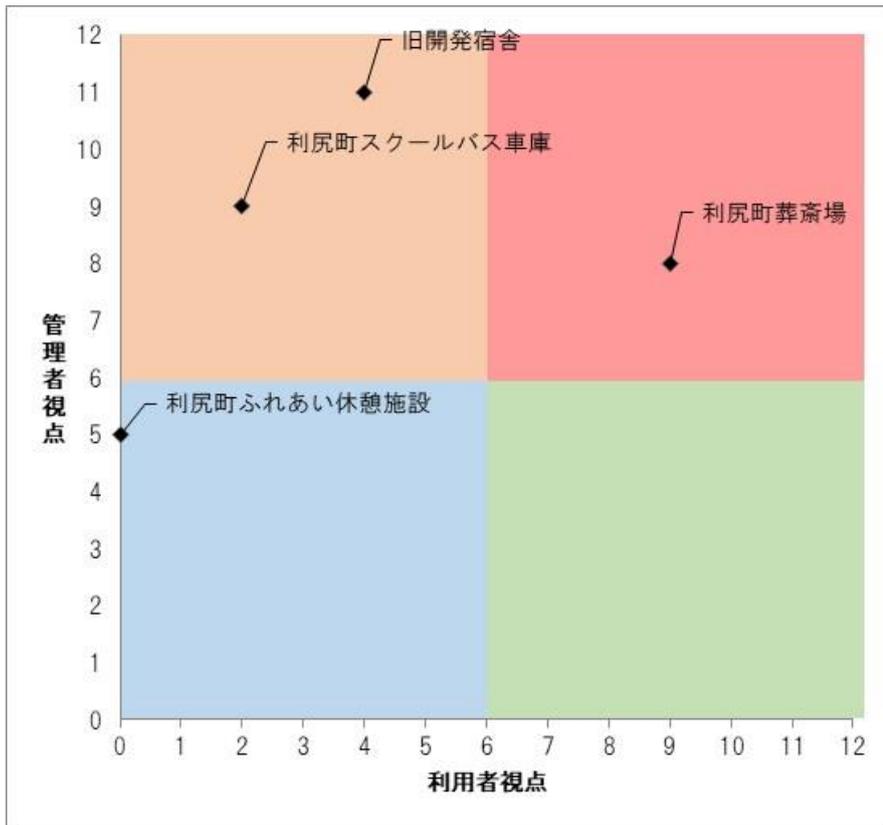
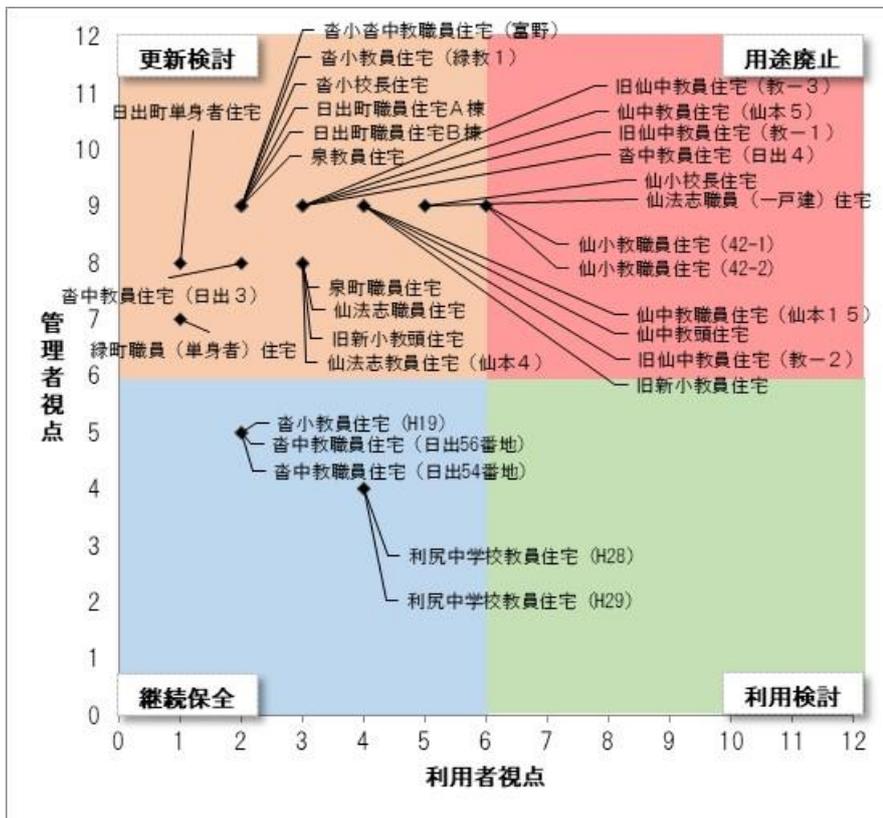


図 その他施設（教職員住宅のみ）の一次評価結果



4章 施設類型毎の整備・管理の方針

1. 目標使用年数の設定

施設の目標使用年数は「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会）を参考とし、構造別に以下のように設定する。

■目標使用年数

鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨造	木造
60年	60年	50年

表 建築物全体の望ましい目標耐用年数の級

用途	鉄筋コンクリート造		鉄骨造			ブロック造 れんが造	木造
	鉄骨鉄筋コンクリート造		重量鉄骨		軽量鉄骨		
	高品質 の場合	普通の品 質の場合	高品質 の場合	普通の品 質の場合			
学校・庁舎	Y100 以上	Y60 以上	Y100 以上	Y60 以上	Y40 以上	Y60 以上	Y60 以上
住宅・事務所・ 病院	Y100 以上	Y60 以上	Y100 以上	Y60 以上	Y40 以上	Y60 以上	Y40 以上
店舗・旅館・ ホテル	Y100 以上	Y60 以上	Y100 以上	Y60 以上	Y40 以上	Y60 以上	Y40 以上
工場	Y40 以上	Y25 以上	Y40 以上	Y25 以上	Y25 以上	Y25 以上	Y25 以上

出典：建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）

表 目標耐用年数の級の区分例

級	目標耐用年数		
	代表値	範囲	下限値
Y150	150年	120～200年	120年
Y100	100年	80～100年	80年
Y60	60年	50～80年	50年
Y40	40年	30～50年	30年
Y25	25年	20～30年	20年

出典：建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）

2. 施設分類毎の再評価と整備・管理の方針

ここでは、前章の棟毎の一次評価に加え、上位計画である利尻町公共施設等総合管理計画での位置づけや施設の利用実態等を踏まえ、施設管理の方向性を再評価し、施設毎の整備・管理の方針について整理する。

(1) 町民文化系施設

1) 町民文化系施設

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の3施設となっています。

上位計画の整備方針では利尻町交流促進施設「どんと」、利尻大志館については、適切な修繕・改修をしながら施設の長寿命化による維持管理を図ることとしています。その他の施設についても、劣化が進んでいる施設は早期の改修を検討・対応するとともに、他の施設にも改修等適切に維持管理を行うこととしています。

表 町民文化系施設の対象施設

施設名	建設年	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価
利尻町交流促進施設「どんと」	H13	1	・利尻大志館や利尻町交流促進施設は避難所として指定されているため、適切な修繕・改修をしながら施設の長寿命化による維持管理を図ります。 ・劣化が進んでいる施設については早期の改修を検討し、対応するとともに、他の施設についても改修等適切に維持管理を行います。	更新検討
利尻大志館	H6	1		更新検討
利尻町役場仙法志支所・公民館	S63	1		継続保全

②再評価と整備・管理の方針

■整備・管理の方針

- ・利尻町交流促進施設「どんと」は、大ホールや図書室、調理室、体験学習室等を備え、町の行事を開催する際には会場となる重要な施設です。建設後20年を迎え、老朽化も進んでいることから、屋上の防水機能劣化については早急に改善し、その他の箇所についても適切な改修を計画的に行い、長期的に利用していきます。
- ・利尻大志館は、現在、学童保育としても利用しており、需要もあることから、適切な改善を行い、長期的に利用していきます。
- ・利尻町役場仙法志支所・公民館は、地区の行政機能を備え、町民行事の会場となる等、地区の文化交流機能も担っている施設です。老朽化も進んでいることから、適切な改善を行い、長期的に利用していきます。

表 町民文化系施設の整備・管理の方針

施設名	建設年	棟数	再評価結果
利尻町交流促進施設「どんと」	H13	1	継続保全
利尻大志館	H6	1	継続保全
利尻町役場仙法志支所・公民館	S63	1	継続保全

(2) 社会教育系施設

1) 社会教育系施設

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の2施設となっています。

上位計画の整備方針では、劣化が進んでいる施設については早期の改修を検討し、対応するとともに、他の施設についても改修等適切に維持管理を行うこととしています。

表 社会教育系施設の対象施設

施設名	建設年	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価
利尻町立博物館	S54	1	・劣化が進んでいる施設については早期の改修を検討し、対応するとともに、他の施設についても改修等適切に維持管理を行います。	更新検討
保津船収納小屋	H8	1		更新検討

②再評価と整備・管理の方針

■整備・管理の方針

- ・利尻町博物館は、利尻町に関する資料収集、記録・保全と次世代への継承を担っている施設であり、観光拠点ともなっています。適切な改善を行い、今後も長期的に活用を図ります。
- ・保津船収納小屋は、保津船の展示施設であり、観光にも資する施設であることから、改善を行い、今後も継続的に活用します。

表 社会教育系施設の整備・管理の方針

施設名	建設年	棟数	評価結果
利尻町立博物館	S54	1	継続保全
保津船収納小屋	H8	1	継続保全

(3) スポーツ・レクリエーション系施設

1) スポーツ・レクリエーション系施設

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の10施設となっています。

上位計画の整備方針では、スポーツ施設については、効果的な管理運営に努めるとともに、計画的な施設の改修、修繕を進めていくこととしています。レクリエーション・観光施設・保養施設については、施設の安全点検と適切な維持管理を行うとともに、必要な修繕を行うこととしています。

表 スポーツ・レクリエーション系施設の対象施設

施設名	建設年	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価
利尻町総合体育館「夢交流館」	H7	1	・スポーツ施設については、住民が安全で楽しくスポーツに親しむことができるよう効果的な管理運営に努めるとともに、計画的な施設の改修、修繕を進めていきます。 ・レクリエーション・観光施設・保養施設については、利用者が施設を快適に利用できるよう、施設の安全点検と適切な維持管理を行うとともに、必要な修繕を行います。	利用検討
天望山スキー場管理棟	H9	1		継続保全
ふれあい広場休憩室	S59	1		更新検討
町民屋内運動場	S49	1		更新検討
仙法志パークゴルフ場休憩施設	H10	1		更新検討
ホテル利尻（本館）	S48	1		更新検討
ホテル利尻（新館）	H3	1		更新検討
ホテル利尻（汐さい館）	H15	1		継続保全
利尻町ふれあい保養センター（浴場）	H8	1		更新検討
利尻町ふれあい保養センター（休憩室）	H16	1		更新検討

②再評価と整備・管理の方針

■整備・管理の方針

- ・利尻町総合体育館「夢交流館」は、大会等を開催するスポーツ拠点施設であり、長期的な活用を図る施設です。外壁の劣化が著しいことから、早期に改善を行います。
- ・天望山スキー場は町唯一のスキー場であり、管理棟についても適切な改善を行い、今後も長期的に活用を図ります。
- ・ふれあい広場休憩室は、現在は用具等の収納場所として活用しており、現時点で移動できる施設もないことから、当面は維持することとします。
- ・仙法志パークゴルフ場は、仙法志地区のスポーツ拠点施設であり、適切な改善を行い、今後も長期的に活用を図ります。
- ・ホテル利尻及び利尻町ふれあい保養センターは、町営の宿泊施設及び温泉施設として、多くの町民や観光客に利用されており、観光の拠点施設として、適切な改善を行い、今後も長期的に活用を図ります。

表 スポーツ・レクリエーション系施設の整備・管理の方針

施設名	建設年	棟数	評価結果
利尻町総合体育館「夢交流館」	H7	1	継続保全
天望山スキー場管理棟	H9	1	継続保全
ふれあい広場休憩室	S59	1	継続保全
町民屋内運動場	S49	1	継続保全
仙法志パークゴルフ場休憩施設	H10	1	継続保全
ホテル利尻（本館）	S48	1	継続保全
ホテル利尻（新館）	H3	1	継続保全
ホテル利尻（汐さい館）	H15	1	継続保全
利尻町ふれあい保養センター（浴場）	H8	1	継続保全
利尻町ふれあい保養センター（休憩室）	H16	1	継続保全

(4) 産業系施設

1) 産業系施設

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の8施設となっています。

上位計画の整備方針では、劣化が進んでいる施設については早期の改修を検討し、対応するとともに、他の施設についても改修等適切に維持管理を行うとしています。

表 産業系施設の対象施設

施設名	建設年	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価
利尻町昆布種苗生産施設	H7	1	・劣化が進んでいる施設については早期の改修を検討し、対応するとともに、他の施設についても改修等適切に維持管理を行います。	更新検討
漁船上架施設駆動装置上屋（日出町）	H6	1		更新検討
漁船上架施設ウインチ上屋（日出町）	H6	1		更新検討
利尻町うに中間育成施設	H5	1		継続保全
仙法志漁船上架施設駆動装置上屋	S44	1		更新検討
利尻町ウニ種苗中間育成施設	H5	1		更新検討
利尻町ウニ種苗中間育成施設(増築)	H5	1		更新検討
利尻町ウニ採苗生産施設	H5	1		更新検討

②再評価と整備・管理の方針

■整備・管理の方針

・利尻町ウニ種苗生産施設をはじめとする産業系施設は、町の基幹産業を支える重要施設です。施設の性格上、塩害による建物の劣化も進んでおり、適切な改善を行い、長期的な活用を図ります。

表 産業系施設の整備・管理の方針

施設名	建設年	棟数	評価結果
利尻町昆布種苗生産施設	H7	1	継続保全
漁船上架施設駆動装置上屋（日出町）	H6	1	継続保全
漁船上架施設ウインチ上屋（日出町）	H6	1	継続保全
利尻町うに中間育成施設	H5	1	継続保全
仙法志漁船上架施設駆動装置上屋	S44	1	継続保全
利尻町ウニ種苗中間育成施設	H5	1	継続保全
利尻町ウニ種苗中間育成施設	H5	1	継続保全
利尻町ウニ採苗生産施設	H5	1	継続保全

(5) 学校教育系施設

1) 学校教育系施設

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の2施設となっています。

対象2施設は一次評価の結果、旧沓形中学校は「用途廃止」、旧仙法志中学校は「更新検討」となっています。

上位計画の整備方針では、適正な維持管理を図るとともに、必要な修繕を行うとしています。

表 学校教育系施設の対象施設

施設名	建設年	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価
旧沓形中学校(校舎・幼稚園舎1)	S36	1	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育系施設については、建物の老朽化や将来の児童・生徒数の推移や地域の実情を踏まえ、機能の充実を図るとともに、計画的な修繕を進め施設の長寿命化を図ります。 その他学校教育施設や子育て支援系施設については適正な維持管理を図るとともに、必要な修繕を行います。 	用途廃止
旧沓形中学校(校舎・幼稚園舎2)	S40	1		用途廃止
旧沓形中学校(校舎・幼稚園舎3)	S46	1		用途廃止
旧仙法志中学校(校舎・幼稚園舎1)	S52	1		更新検討
旧仙法志中学校(校舎・幼稚園舎2)	S40	1		更新検討
旧仙法志中学校(体育館)	S53	1		更新検討

②再評価と整備・管理の方針

■整備・管理の方針

- 旧沓形中学校は、現在、民間事業者に貸付し、定住移住支援センター「ツギノバ」として稼働しています。今後も継続的に稼働できるよう、事業者とも協議のうえ、必要な改善を行います。
- 旧仙法志中学校は、廃校後、未活用の状況であり、地区住民とも協議のうえ、活用方法について検討を行います。

表 学校教育系施設の整備・管理の方針

施設名	建設年	棟数	評価結果
旧沓形中学校(校舎・幼稚園舎1)	S36	1	継続保全
旧沓形中学校(校舎・幼稚園舎2)	S40	1	継続保全
旧沓形中学校(校舎・幼稚園舎3)	S46	1	継続保全
旧仙法志中学校(校舎・幼稚園舎1)	S52	1	利用検討
旧仙法志中学校(校舎・幼稚園舎2)	S40	1	利用検討
旧仙法志中学校(体育館)	S53	1	利用検討

(6) 子育て支援施設

1) 子育て支援施設

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の2施設となっています。

一次評価の結果は、2施設とも「更新検討」となっています。

上位計画の整備方針は、適正な維持管理を図るとともに、必要な修繕を行うこととしています。

表 保育園の対象施設

施設名	建設年	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価
仙法志保育所	H6	1	・その他学校教育施設や子育て支援系施設については適正な維持管理を図るとともに、必要な修繕を行います。	更新検討
沓形保育所	H1	1		更新検討

②再評価と整備・管理の方針

■整備・管理の方針

- ・仙法志保育所、沓形保育所はともに、各地区で唯一の子育て支援系施設であり、今後必要な施設であることから、「継続保全」として、適切な改善を行い、長期的に活用を図ります。

表 子育て支援施設の整備・管理の方針

施設名	建設年	棟数	評価結果
仙法志保育所	H6	1	継続保全
沓形保育所	H1	1	継続保全

(7) 保健・福祉施設

1) 高齢福祉施設

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の5施設となっています。

一次評価の結果は、高齢者生活福祉センター「希望」のみ「継続保全」、そのほかの施設は「更新検討」となっています。

上位計画の整備方針は、関連計画と整合を図りながら適切な維持管理に努めるとともに、施設の機能維持に必要な修繕等を行うとしています。

表 高齢福祉施設の対象施設

施設名	建設年	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価
利尻町高齢者生活福祉センター「希望」	H9	1	・利用者が施設を快適に利用できるように関連計画と整合を図りながら適切な維持管理に努めるとともに、施設の機能維持に必要な修繕等を行います。	継続保全
利尻町高齢者共同生活施設「友愛」	H14	1		更新検討
利尻町老人福祉センター	S58	1		更新検討
利尻町特別養護老人ホーム「ほのぼの荘」	H5	1		更新検討
ほのぼの荘車庫	H6	1		更新検討

②再評価と整備・管理の方針

■整備・管理の方針

・町には民間の高齢福祉施設はなく、町の高齢者福祉を担う重要施設であり、少子高齢化の進む現状では、今後も継続的に活用を図る必要があります。高齢者生活福祉センター「希望」は、建設後20年以上が経過し、高圧受電設備等施設の各設備の老朽化が進んでおり、早期に改善を行います。

表 高齢福祉施設の整備・管理の方針

施設名	建設年	棟数	評価結果
利尻町高齢者生活福祉センター「希望」	H9	1	継続保全
利尻町高齢者共同生活施設「友愛」	H14	1	継続保全
利尻町老人福祉センター	S58	1	継続保全
利尻町特別養護老人ホーム「ほのぼの荘」	H5	1	継続保全
ほのぼの荘車庫	H6	1	継続保全

(8) 医療施設

1) 医療施設

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の2施設となっています。

一次評価の結果は、沓形歯科診療所は「更新検討」、仙法志歯科診療所は「用途廃止」となっています。

上位計画の整備方針は、老朽化に伴う医療施設（診療所等）の設備更新や医療機械の計画的な更新を図るとしてしています。

表 医療施設の対象施設

施設名	建設年	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価
沓形歯科診療所	S63	1	・老朽化に伴う医療施設（診療所等）の設備更新や医療機械の計画的な更新を図りながら、地域医療の推進に努めます。	更新検討
仙法志歯科診療所	H2	1		用途廃止

②再評価と整備・管理の方針

■整備・管理の方針

- ・沓形歯科診療所、仙法志歯科診療所はともに、民間事業者へ建物を無償貸付し、歯科診療業務を委託しています。各地区で唯一の歯科診療所であり、地域医療の推進のため、建物の改善、設備更新を行い、今後も継続的に活用をはかります。

表 医療施設の整備・管理の方針

施設名	建設年	棟数	評価結果
沓形歯科診療所	S63	1	継続保全
仙法志歯科診療所	H2	1	継続保全

(9) 行政施設

1) 庁舎等

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の6施設となっています。

一次評価の結果は、役場庁舎、庁舎車庫、沓形除雪センターは「更新検討」、仙法志除雪センター、砕石事業事務所は「用途廃止」となっています。

上位計画の整備方針は、役場庁舎については、適切な修繕・改修による維持管理を行い、施設の長寿命化による中長期的な活用を図るとしてしています。その他の施設については、適切な維持管理を図るとともに、必要な修繕を行い、適切な維持管理に努めるとしてしています。

表 庁舎等の対象施設

施設名	建設年	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価
利尻町役場庁舎	S62	1	・役場や消防庁舎等については、適切な修繕・改修による維持管理を行い、施設の長寿命化による中長期的な活用を図ります。 ・そのほかの施設については、適切な維持管理を図るとともに、必要な修繕を行い、適切な維持管理に努めます。	更新検討
利尻町役場庁舎車庫	S62	1		更新検討
沓形除雪センター	S44	1		更新検討
仙法志除雪センター	S44	1		用途廃止
仙法志除雪センター	S44	1		用途廃止
利尻町砕石事業所事務所	S63	1		用途廃止

②再評価と整備・管理の方針

■整備・管理の方針

- ・利尻町役場庁舎および庁舎車庫については、適切な改善を行い、今後も長期的に活用を図ります。
- ・沓形除雪センター、仙法志除雪センター、砕石事業所事務所についても、除雪機械の収容や整備等、また砕石事業の運営のため現在も利用しており、適切な改善を行い、今後も長期的に活用を図ります。

表 庁舎等の整備・管理の方針

施設名	建設年	棟数	評価結果
利尻町役場庁舎	S62	1	継続保全
利尻町役場庁舎車庫	S62	1	継続保全
沓形除雪センター	S44	1	継続保全
仙法志除雪センター	S44	1	継続保全
仙法志除雪センター	S44	1	継続保全
利尻町砕石事業所事務所	S63	1	継続保全

(10) 公園

1) 公園

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の2施設となっています。

一次評価の結果は、いずれも「更新検討」となっています。

上位計画の整備方針は、定期点検を実施し点検結果を踏まえた修繕等の対応により、利用者が安全に利用できる環境を整備するとしています。

表 公園（トイレ）の対象施設

施設名	建設年	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価
利尻町運動公園休憩所	H4	1	・公園については、定期点検を実施し点検結果を踏まえた修繕等の対応により、利用者が安全に利用できる環境を整備します。	更新検討
利尻町森林公園（管理棟）	H5	1		更新検討
利尻町森林公園（炊事棟）	H5	1		更新検討
利尻町森林公園（バンガロー①）	H5	1		更新検討
利尻町森林公園（バンガロー②）	H11	1		更新検討

②再評価と整備・管理の方針

■整備・管理の方針

- ・利尻町運動公園休憩所は、パークゴルフ場の休憩所として使用しており、町民の利用も多く、適切な改善を行い、今後も長期的に活用を図ります。
- ・利尻町森林公園は、キャンプ場も備える町の観光施設であり、炊事棟やバンガロー等の各建物は、適切な改善を行い、今後も長期的に活用を図ります。

表 公園（トイレ）の整備・管理の方針

施設名	建設年	棟数	評価結果
利尻町運動公園休憩所	H4	1	継続保全
利尻町森林公園（管理棟）	H5	1	継続保全
利尻町森林公園（炊事棟）	H5	1	継続保全
利尻町森林公園（バンガロー①）	H5	1	継続保全
利尻町森林公園（バンガロー②）	H11	1	継続保全

(11) その他施設

1) その他施設

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の4施設となっています。

上位計画の整備方針は、利尻町葬斎場については、日常点検や計画的な修繕等による施設の長寿命化を図るとしています。その他の施設は、個々の状況に応じ適切な管理を行うとしています。

表 その他施設の対象施設

施設名	建設年	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価
利尻町ふれあい休憩施設	H8	1	・利尻町葬斎場については、日常点検や計画的な修繕等による施設の長寿命化を図ります。 ・その他、上記の施設類型に該当しない施設等については、個々の状況に応じ適切な管理を行います。	継続保全
利尻町スクールバス車庫	S44	1		更新検討
利尻町葬斎場	H2	1		用途廃止
旧開発宿舍	H6	1		更新検討

②再評価と整備・管理の方針

■整備・管理の方針

- ・利尻町ふれあい休憩施設は、フェリーターミナルの待合所や観光案内所等の複合施設であり、町の玄関口として、また観光客と地域住民との交流を促進する重要な施設です。塩害や老朽化による外壁等の劣化が進んでおり、早期に改善を行い、今後も長期的に活用を図ります。
- ・利尻町スクールバス車庫は、大きな劣化もないことから、計画的な修繕を行い、長期的に活用を図ります。
- ・利尻町葬斎場は、町唯一の火葬場・斎場であり、適切な改善を行い、今後も長期的に活用を図ります。
- ・旧開発宿舍は、現在、利尻町公営塾として使用しています。現在も活用されている施設であることから、適切な改善を行い、建物を維持するとともに、今後も需要等を把握しながら、有効活用を図ります。

表 その他施設の整備・管理の方針

施設名	建設年	棟数	評価結果
利尻町ふれあい休憩施設	H8	1	継続保全
利尻町スクールバス車庫	S44	1	継続保全
利尻町葬斎場	H2	1	継続保全
旧開発宿舍	H29	1	継続保全

2) 職員・教員住宅

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の 30 施設となっています。

一次評価の結果は、ほとんどの施設が「更新検討」となっています。

上位計画の整備方針は、劣化状況や利用状況をみながら改修や用途廃止等の方向性を検討するとしています。

表 教職員住宅の対象施設

施設名	建設年	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価
仙法志職員住宅	H5	1	・職員住宅や教員住宅については、劣化状況や利用状況をみながら改修や用途廃止等の方向性を検討します。	更新検討
仙法志職員（一戸建）住宅	S44	1		更新検討
緑町職員（単身者）住宅	H10	1		更新検討
日出町単身者住宅	H7	1		更新検討
旧仙中教員住宅（教－1）	S58	1		更新検討
沓小沓中教職員住宅（富野）	H9	1		更新検討
旧新小教頭住宅	H11	1		更新検討
仙法志教員住宅（仙本4）	H8	1		更新検討
沓小教員住宅（H19）	H19	1		継続保全
沓中教職員住宅（日出54番地）	H19	1		継続保全
沓中教職員住宅（日出56番地）	H19	1		継続保全
仙中教頭住宅	H3	1		更新検討
泉教員住宅	S60	1		更新検討
沓中教員住宅（日出4）	S58	1		更新検討
仙小学校長住宅	S62	1		更新検討
沓小学校長住宅	S62	1		更新検討
沓中教員住宅（日出3）	S61	1		更新検討
仙中教員住宅（仙本5）	S58	1		更新検討
旧新小教員住宅	S45	1		更新検討
旧仙中教員住宅（教－3）	S56	1		更新検討
旧仙中教員住宅（教－2）	S57	1		更新検討
仙小教職員住宅（42-1）	S50	1		用途廃止
仙小教職員住宅（42-2）	S50	1		用途廃止
泉町職員住宅	H4	1		更新検討
仙中教職員住宅（仙本15）	S53	1		更新検討
沓小教員住宅（緑教1）	S59	1		更新検討
日出町職員住宅A棟	S57	1		更新検討
日出町職員住宅B棟	S57	1		更新検討
利尻中学校教員住宅（H28）	H29	1		継続保全
利尻中学校教員住宅（H29）	H30	1		継続保全

②再評価と整備・管理の方針

■整備・管理の方針

- ・職員・教員住宅は、町職員や教員等のための住宅です。町には民間賃貸住宅が無く、町外からの職員採用も増えている現状の中で、職員の住居確保のためには必要な施設です。但し、老朽化が著しく現在は使用していない住宅もあることから、これについては早期に用途廃止します。そのほかの住宅については、劣化状況と利用状況に基づき、改善または用途廃止を行います。

表 その他施設の整備・管理の方針

施設名	建設年	棟数	評価結果
仙法志職員住宅	H5	1	継続保全
仙法志職員（一戸建）住宅	S44	1	継続保全
緑町職員（単身者）住宅	H10	1	継続保全
日出町単身者住宅	H7	1	継続保全
旧仙中教員住宅（教－1）	S58	1	継続保全
沓小沓中教職員住宅（富野）	H9	1	継続保全
旧新小教頭住宅	H11	1	継続保全
仙法志教員住宅（仙本4）	H8	1	継続保全
沓小教員住宅（H19）	H19	1	継続保全
沓中教職員住宅（日出54番地）	H19	1	継続保全
沓中教職員住宅（日出56番地）	H19	1	継続保全
仙中教頭住宅	H3	1	継続保全
泉教員住宅	S60	1	継続保全
沓中教員住宅（日出4）	S44	1	継続保全
仙小校長住宅	S62	1	継続保全
沓小校長住宅	S62	1	継続保全
沓中教員住宅（日出3）	S61	1	継続保全
仙中教員住宅（仙本5）	S58	1	継続保全
旧新小教員住宅	S45	1	用途廃止
旧仙中教員住宅（教－3）	S56	1	継続保全
旧仙中教員住宅（教－2）	S57	1	継続保全
仙小教職員住宅（42-1）	S44	1	用途廃止
仙小教職員住宅（42-2）	S44	1	用途廃止
泉町職員住宅	H4	1	継続保全
仙中教職員住宅（仙本15）	S53	1	用途廃止
沓小教員住宅（緑教1）	S59	1	継続保全
日出町職員住宅A棟	S57	1	継続保全
日出町職員住宅B棟	S57	1	継続保全
利尻中学校教員住宅（H28）	H29	1	継続保全
利尻中学校教員住宅（H29）	H30	1	継続保全

3. 評価結果の総括

最終的な評価結果をみると、割合が多い順に「継続保全」76棟（91.6%）、「利用検討」が3棟（3.6%）、「用途廃止」が4棟（4.8%）となっています。

町では、施設の利用状況を考慮すると、利用されていない余剰の施設は無く、長期的に活用を図る必要のある施設がほとんどです。

多くの施設を一度に改善することはできないことから、優先的に改善を実施する施設を定める必要が有ります。建物の老朽化の進み具合は、塩害等の影響で立地により違うことから、各施設の劣化状況を的確に把握し、利用状況等も踏まえたうえで、優先順位を決め、適切な改善を実施し、各施設の長寿命化を図ります。

図 施設分類毎の評価結果

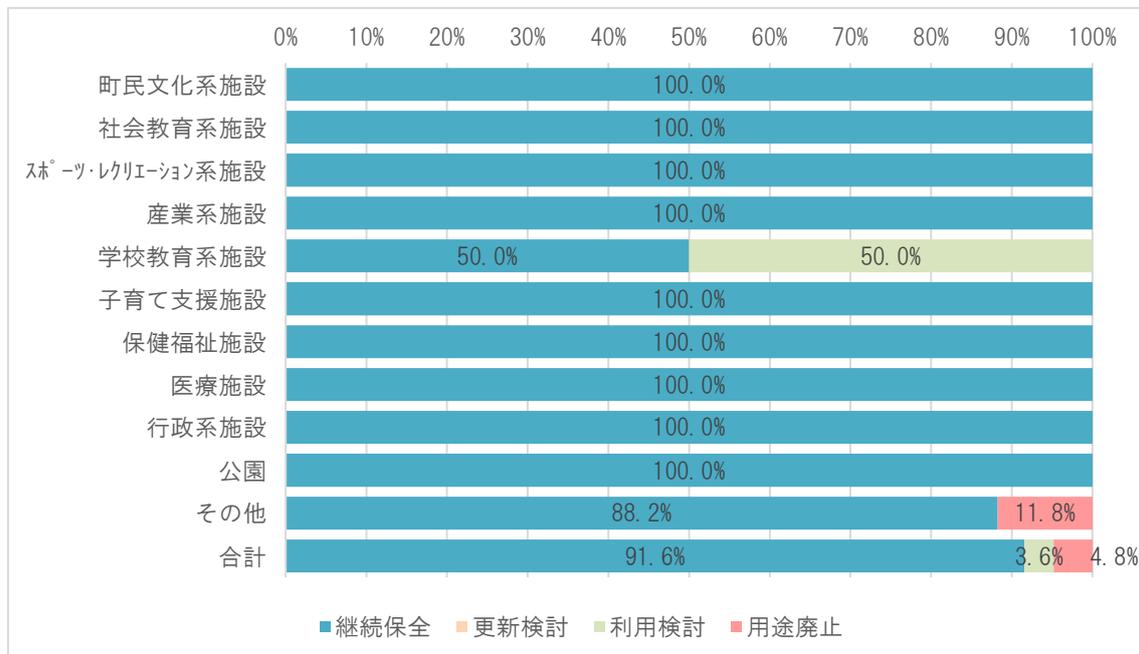


表 施設分類毎の評価結果

施設分類	継続保全	更新検討	利用検討	用途廃止	合計
町民文化系施設	3	0	0	0	3
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
社会教育系施設	2	0	0	0	2
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
スポーツ・レクリエーション系施設	10	0	0	0	10
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
産業系施設	8	0	0	0	8
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
学校教育系施設	3	0	3	0	6
	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%
子育て支援施設	2	0	0	0	2
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保健・福祉施設	5	0	0	0	5
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
医療施設	2	0	0	0	2
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
行政系施設	6	0	0	0	6
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
公園	5	0	0	0	5
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他	30	0	0	4	34
	88.2%	0.0%	0.0%	11.8%	100.0%
合計	76	0	3	4	83
	91.6%	0.0%	3.6%	4.8%	100.0%

表 評価結果の総括

分類名	施設名	建設年	棟数	再評価結果
町民文化系施設	利尻町交流促進施設「どんと」	H13	1	継続保全
	利尻大志館	H6	1	継続保全
	利尻町役場仙法志支所・公民館	S63	1	継続保全
社会教育系施設	利尻町立博物館	S54	1	継続保全
	保津船収納小屋	H8	1	継続保全
スポーツ・レクリエーション系 施設	利尻町総合体育館「夢交流館」	H7	1	継続保全
	天望山スキー場管理棟	H9	1	継続保全
	ふれあい広場休憩室	S59	1	継続保全
	町民屋内運動場	S49	1	継続保全
	仙法志パークゴルフ場休憩施設	H10	1	継続保全
	ホテル利尻（本館）	S48	1	継続保全
	ホテル利尻（新館）	H3	1	継続保全
	ホテル利尻（汐さい館）	H15	1	継続保全
	利尻町ふれあい保養センター（浴場）	H8	1	継続保全
	利尻町ふれあい保養センター（休憩室）	H16	1	継続保全
産業系施設	利尻町昆布種苗生産施設	H7	1	継続保全
	漁船上架施設駆動装置上屋（日出町）	H6	1	継続保全
	漁船上架施設ウインチ上屋（日出町）	H6	1	継続保全
	利尻町うに中間育成施設	H5	1	継続保全
	仙法志漁船上架施設駆動装置上屋	S44	1	継続保全
	利尻町ウニ種苗中間育成施設	H5	1	継続保全
	利尻町ウニ種苗中間育成施設	H5	1	継続保全
	利尻町ウニ種苗生産施設	H5	1	継続保全
学校教育系施設	旧沓形中学校(校舎・幼稚園舎 1)	H7	1	継続保全
	旧沓形中学校(校舎・幼稚園舎 2)	H6	1	継続保全
	旧沓形中学校(校舎・幼稚園舎 3)	H6	1	継続保全
	旧仙法志中学校(校舎・幼稚園舎 1)	H5	1	利用検討
	旧仙法志中学校(校舎・幼稚園舎 2)	S44	1	利用検討
	旧仙法志中学校（体育館）	H5	1	利用検討
子育て支援施設	仙法志保育所	H6	1	継続保全
	沓形保育所	H1	1	継続保全
保健・福祉施設	高齢者生活福祉センター「希望」	H9	1	継続保全
	利尻町高齢者共同生活施設「友愛」	H14	1	継続保全
	利尻町老人福祉センター	S58	1	継続保全
	利尻町特別養護老人ホーム「ほのぼの荘」	H5	1	継続保全
	ほのぼの荘車庫	H6	1	継続保全

分類名	施設名	建設年	棟数	再評価結果
医療施設	沓形歯科診療所	S63	1	継続保全
	仙法志歯科診療所	H2	1	継続保全
行政系施設	利尻町役場庁舎	S62	1	継続保全
	利尻町役場庁舎車庫	S62	1	継続保全
	沓形除雪センター	S44	1	継続保全
	仙法志除雪センター	S44	1	継続保全
	仙法志除雪センター	S44	1	継続保全
	利尻町砕石事業所事務所	S63	1	継続保全
公園	利尻町運動公園休憩所	H4	1	継続保全
	利尻町森林公園（管理棟）	H5	1	継続保全
	利尻町森林公園（炊事棟）	H5	1	継続保全
	利尻町森林公園（バンガロー①）	H5	1	継続保全
	利尻町森林公園（バンガロー②）	H11	1	継続保全
その他施設	利尻町ふれあい休憩施設	H8	1	継続保全
	利尻町スクールバス車庫	S44	1	継続保全
	利尻町葬斎場	H2	1	継続保全
	旧開発宿舎	H29	1	継続保全

分類名	施設名	建設年	棟数	再評価結果
その他施設 教職員住宅	仙法志職員住宅	H5	1	継続保全
	仙法志職員（一戸建）住宅	S44	1	継続保全
	緑町職員（単身者）住宅	H10	1	継続保全
	日出町単身者住宅	H7	1	継続保全
	旧仙中教員住宅（教-1）	S58	1	継続保全
	沓小沓中教職員住宅（富野）	H9	1	継続保全
	旧新小教頭住宅	H11	1	継続保全
	仙法志教員住宅（仙本4）	H8	1	継続保全
	沓小教員住宅（H19）	H19	1	継続保全
	沓中教職員住宅（日出54番地）	H19	1	継続保全
	沓中教職員住宅（日出56番地）	H19	1	継続保全
	仙中教頭住宅	H3	1	継続保全
	泉教員住宅	S60	1	継続保全
	沓中教員住宅（日出4）	S58	1	継続保全
	仙小校長住宅	S62	1	継続保全
	沓小校長住宅	S62	1	継続保全
	沓中教員住宅（日出3）	S61	1	継続保全
	仙中教員住宅（仙本5）	S58	1	継続保全
	旧新小教員住宅	S45	1	用途廃止
	旧仙中教員住宅（教-3）	S56	1	継続保全
	旧仙中教員住宅（教-2）	S57	1	継続保全
	仙小教職員住宅（42-1）	S50	1	用途廃止
	仙小教職員住宅（42-2）	S50	1	用途廃止
	泉町職員住宅	H4	1	継続保全
	仙中教職員住宅（仙本15）	S53	1	用途廃止
	沓小教員住宅（緑教1）	S59	1	継続保全
	日出町職員住宅A棟	S57	1	継続保全
	日出町職員住宅B棟	S57	1	継続保全
	利尻中学校教員住宅（H28）	H29	1	継続保全
	利尻中学校教員住宅（H29）	H30	1	継続保全